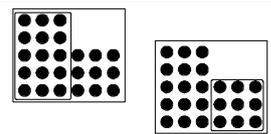


(3) 授業記録

抵抗感をもたせて問題意識を高め、1つ分の大きさの違いに着目させ確かな課題をつかむ場面

発言者	働きかけと 子どもの姿
T 01	1つ分の大きさのいくつ分で考えればできるね。次いくよ。
C	えっ? できんよ。かけ算にならない。(1つ分の大きさが変化しているところを指して)
C 01	付け足し。このところは、1つ分の大きさが5個ですね。こっちは、1つ分の大きさが3こしかありませんね。前は、同じ数ずつだったんだけど、今日は、数が違うから、(変化したところを指して) かけ算はできませんね。どうですか?
T 02	1つ分の大きさがここでどうなっているの?
C	たりない。と九九ができない。
T 02	なるほど。じゃあみんな、九九ができないってことは、1, 2, 3, 4, ... って全部の数を数えていかなきゃ...
C	違う, 違う, 違う, 違う, 数えちゃだめ。1つ分の大きさのいくつ分が分かるところがある。
T 03	つまり? えっ? 数えんでもできそう? では、今日考えていくのは? C 02さん。
C 02	数えずに、1つ分の大きさがたりないときの全部の数の求め方を考えよう。



1つ分の大きさの違いに着目させ、焦点的にさせる。

有効性の判断をする問題(2)に取り組む場面

	問題(2): 黒い丸は何個あるでしょう。	
C 03	この端の4つをもってきて、求めれないからこの下にもっていきます。4x9と3で求めます。どうですか?	
C 04	付け足し。はじめにこの4を動かしますね。式は3x13ですね。前の答えにかけられる数ずつ増やしていけばよいというきまりを使うと、3x1=3, 3x2=6... 3x9=27, 3x10=30, 3x11=33, 3x12=36, 3x13=39ですね。だから、答えは39個です。どうですか?	
T 04	なるほど、かけ算のきまりを使って答えを出すことができたね。	
C 05	付け足し。真ん中の2を右上に動かしてつの九九を使うと、左3x7=21 右3x6=18, 合わせて 21+18=39	
T 05	どの考え方がはやくて簡単な? 「はやく、簡単」という視点から、有効性を判断させる。	
C 06	C 04さんのようにかけ算のきまりを使うと確実にできるけど、私は、C 05さんのように真ん中の2つを動かせば、九九を2回でできるから簡単だと思います。どうですか?	
T 06	九九で求めることのできる形にするとよさそうだね。問題1, 2を解いてみて今日のまとめは?	
C 07	1つ分の大きさのいくつ分をつくって、分けたり動かしたりして考えればいいたと思います。	

考え方を確かに獲得できたことを実感できる確かめ問題に取り組む場面

	確かめ問題: ばらばらになったおはじきを、ぱっといくつ分かるように並べましょう。	
T 07	どの考え方で全体の数も求めることができるけど、1番いいなと思った考え方はどれですか? よさを明確にさせる。	
C 08	僕は、上の段の真ん中がいいと思います。わけは、1つ分の大きさのいくつ分がわかりやすいからです。どうですか?	
C 09	似ていて。私は一番左上の考え方がいいと思います。わけは、上の段の真ん中でもC 08さん言うように1つ分の大きさといくつ分がわかりやすいけど、左上の方がいくつ分もはっきりしていて数えやすいからです。どうですか?	
T 08	今日、勉強して、なるほどと思ったことや、これからも使えそうだったことはありますか?	
C 10	はじめは、1つ分の大きさのいくつ分が途中で違っているので、できないと思ったけど、Cさんの話を聞いて、1つ分の大きさのいくつ分に目を付けて、できるだけ九九が1回で答えを求めることのできる形になおして考えていけばいいと思いました。どうですか?	

獲得した学習内容を明確にし、生活とつなげさせる。